

小学校

「全国学力・学習状況調査」豊田市の状況について 令和元年度の結果から

本調査は、児童の学力や学習状況を把握し、その結果を今後の教育活動に役立てていくことを目的としています。令和元年度の結果から分かる子どもたちの状況を報告します。

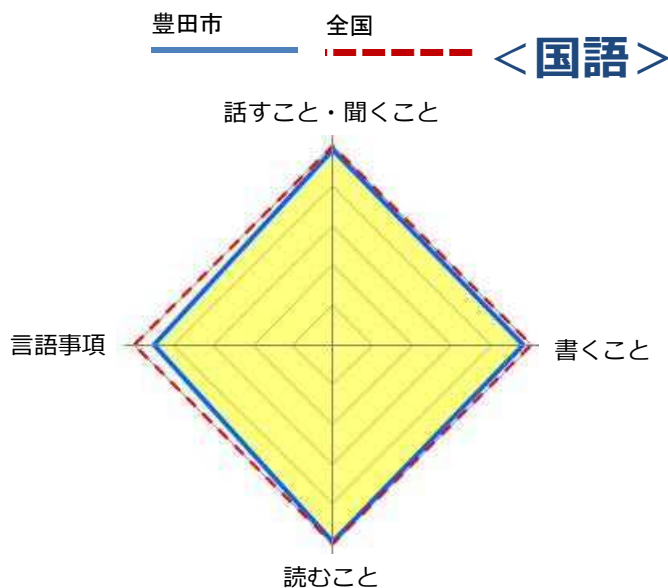
【調査の概要】 調査実施日	平成31年4月18日（木）
調査対象	小・特別支援学校6年生 76校
調査事項	◎教科に関する調査（国語・算数） ※本年度から、知識と活用が一体となった問題になりました。 ◎質問紙調査（学習・生活）

【教科に関する調査の結果】

国語は、全国平均より低い結果でした。算数は、全国平均とほぼ同じでした。

全国の平均正答率との比較（全国を100として）

* 正答率・・・テストを100点満点に換算した数値



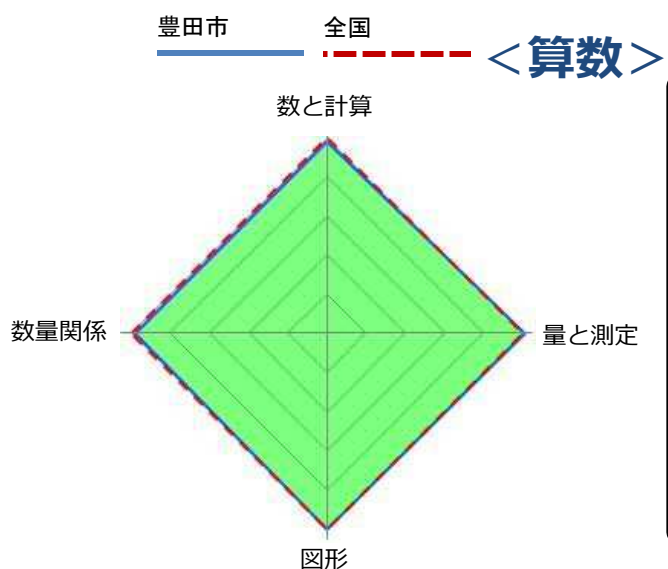
【こんなところができています】

- ・話し手の意図をとらえながら聞き、自分の考えをまとめる。（話すこと・聞くこと）

【こんなところが課題です】

- ・漢字を文の中で正しく使う。（言語事項）
- ・相手が答えやすいように、目的に応じて、質問を工夫する。（話すこと・聞くこと）
- ・目的に応じて、理由を明確にし、まとめて書く。（書くこと）

* 言語事項とは・・・漢字やローマ字の読み書きや語句の理解



【こんなところができています】

- ・ひき算の計算の仕方をまとめた文をもとに、わり算の計算の仕方のまとめ文を書く。（数と計算）
- ・示された式が、どのように図形の面積を求めているかを説明する。（量と測定）

【こんなところが課題です】

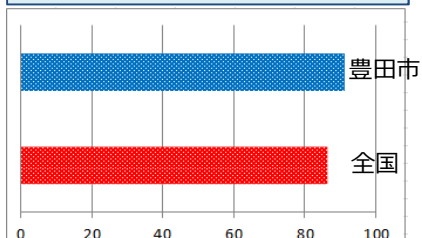
- ・ $6+0.5\times 2$ のようなたし算とかけ算、整数と小数が混合した計算をする。（数と計算）
- ・示されたひき算の性質をもとに $350-97$ について、ひく数の97を100にした計算の仕方を考える。（数と計算）

* 数量関係とは・・・数量や図形について調べたり、表現したりする方法の理解

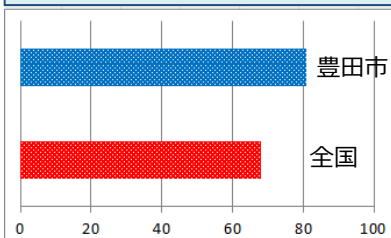
【学習および生活状況に関する質問紙調査の結果】

☆よい傾向

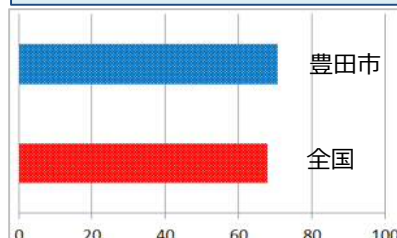
授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う



今住んでいる地域の行事に参加している



読書は好きである

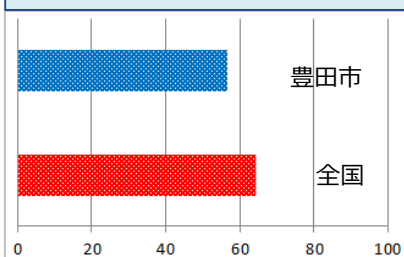


＜上記以外のよい傾向＞

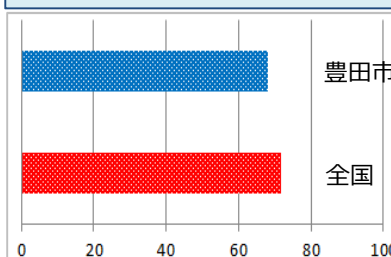
- ・算数の勉強が好きで、授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考える。
- ・学校のきまりを守っている。
- ・家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をする。

★改善を要する傾向

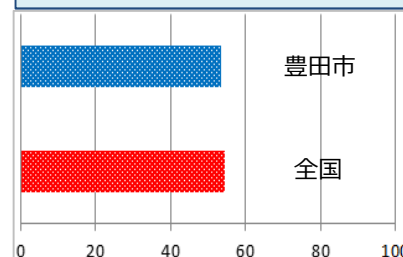
国語の勉強が好きである



家で、自分で計画を立てて勉強する



地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある



＜上記以外の改善を要する傾向＞

- ・「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」と答えた児童の割合が低い。
- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝たり、起きたりしている」と答えた児童の割合が低い。

豊田市が大好きな、知・徳・体のバランスのとれた児童を育てるために

豊田市では

- ・基礎基本の定着を目指すと共に、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりを進めます。
- ・ICT機器の整備や活用促進を進め、子どもが活用しながら学べる環境をつくりまます。
- ・地域ぐるみで、児童の健全育成を目指し、豊田市のコミュニティ・スクールの推進を図ります。

学校では

- ・国語や算数の基礎基本の学習に重点を置いた指導を行います。
- ・課題意識をもった学習や、自分の学びを振り返る時間を充実させます。

家庭では

- ・生活習慣を整え、家庭学習の時間や内容などをお子さんと一緒に決めましょう。
- ・地域の行事に家族で一緒に参加し、地域によさにふれていきましょう。